



11
2015

創刊号

ごあいさつ

皆様、こんにちは。「京都市地域リハビリテーション推進センター」所長の西尾です。どうぞよろしくお願いいたします。また、皆様におかれましては、日頃から、当センターの事業運営にひとかたならぬ御理解と御支援をいただいております、心から感謝申し上げます。



さて、地域リハビリテーションのより一層の推進と高次脳機能障害者支援を取組の重点において、旧身体障害者リハビリテーションセンターの機能を再編した当センターが、平成27年4月に開設してから半年余りが経過しました。開設後は7月に高次脳機能障害者支援センターを新たに設置したほか、障害福祉サービス事業所等訪問支援の内容の充実を図るなど、この間の各事業運営は、関係者の皆様の御理解と御支援により、概ね順調に推移しております。

こうした中、「新しいセンターは、どんなことをしているんだろう」「どんなことで利用できるんだろう」とするお声により一層応えていくため、この度、これまでの機関紙「地域リハ研究」をリニューアルして「リハ エール」に改称し、タイムリーな情報をこれまで以上に積極的に発信していくこととしました。この「リハ エール」の名称には、リハビリに関わる全ての方へ心からのエール（応援）を送るという思いを込めています。

新しいセンターにおいても、これまでと同様、障害のある方が地域で快適に生活できる環境づくりや自己実現のできる社会づくりの推進拠点として、関係者の皆様の御理解と御支援をいただきながら、親しみのある利用しやすいセンターづくりに向けて、職員一同、精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

京都市地域リハビリテーション推進センター所長 西尾 健

センターの事業について

主な事業は以下のとおりです。

- 障害福祉サービス事業所等訪問支援
- 地域リハビリテーション推進研修
- 高次脳機能障害のある方への相談・支援
(高次脳障害者支援センター・障害者支援施設)
- からだの動きに障害のある方等の健康相談
- 福祉用具・住環境相談
- ピア相談

など

『地域に帰る（地域リハビリテーションの推進）』をモットーに、紙面で活躍します！



「体力測定」を実施しました！

9月11日、18日にからだの動きに障害のある市民の方を対象に体力測定を実施し、合計22名の参加を得ました。

測定内容は、**血圧、骨密度、肺活量、握力、棒反応、長座体前屈、バランス機能、歩行速度**等です。参加者の方々は普段は行わない測定項目に苦闘されたり、つい張り切りすぎたりという場面も見られました。また参加された方からは、他の人のがんばっている姿を見て励みになった、楽しかった等の感想がありました。

この体力測定は、地域リハビリテーション推進に向けた新たな取組として今年度から実施しました。一般に体力は疾病や加齢によって低下しますが、障害のある方々は体力を測定する機会が少ないので、これをきっかけにご自身の体力を把握していただき、日常生活を無理なくすごせるよう体力を維持することを心がけていただけたらと思います。



長座体前屈の様子



普段あまり機会のない骨密度の測定は、大人気でした！



握力測定、この一瞬に力をこめて！

高次脳機能障害 入門講座

この入門講座は、京都市高次脳機能障害者支援センターの研修事業の一環として8月21日から全3回のシリーズで開催しました。高次脳機能障害の基礎知識を学ぶことを目的に、当支援センターの支援コーディネーターが同障害の主な症状である「注意障害・記憶障害・遂行機能障害」「社会的行動障害」等について、講義を行いました。参加された方は、当事者や家族及び支援者を中心に1回目は51名、2回目は69名、3回目は69名と、回を追うごとに増え、メモを取りながら熱心に聴講されるなど、この障害に対する関心の高さがうかがえました。



【アンケートから】

- 対応方法について、ヒントが得られました。
- 個別の支援方法について知りたいです。
- 就労支援のことを学びたい。

など



地域ガエルの おしごと拝見！

☆第1回☆

障害福祉サービス事業所等訪問支援事業

ある日のA事業所のスタッフBさんの
ひとりごと…



悩める
Bさん…

〇〇さんの利用計画にリハ
ビリを取りいれたいんだけど
どうしたらええかな…



そんな時は
コレが使えるかも？

リハビリの
プロに聞いて
みよう！！

グッドアイデア〜！
何人で聞いてもタダなんやね。

〇月×日に訪問が
決まった！
事前情報書
を作成して、事前に
郵送するんだって。
がんばるぞ〜



せっせっ

センターから訪問日の
調整のため
連絡があります。



さっそく、
地域リハビリ
テーション推進
センターに申込書を
FAXで送ろう♪

〇月×日 14時



こんにちは〜

待ちました！

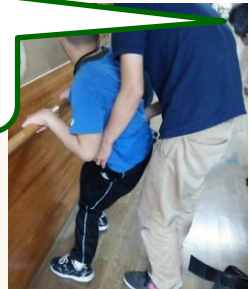
ボクも
来てみた

いろいろ提案
してくれる
んだね



こんなところに気をつ
けて、歩行訓練を
してみましょう。

こんなリハビリは
どうでしょうか？



<地域ガエルのココが知りたい！>

- だれが申込みできるの？
→障害福祉サービス事業所等の職員の方
- どこに来てくれるの？
→事業所や利用者のご自宅へ伺います。
- だれがきてくれる？
→リハビリ専門職員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）、義肢装具士及び管理栄養士等です。
- なにについて相談ができるのかな？
→利用者の方の日常生活での介助や訓練の方法、補装具や車椅子等の相談、利用計画へのリハビリの盛り込み内容等…お気軽にご相談ください。
- 気になるお値段は…
→交通費も含め、無料です！！
- 所要時間は？
→2〜3時間の予定です。

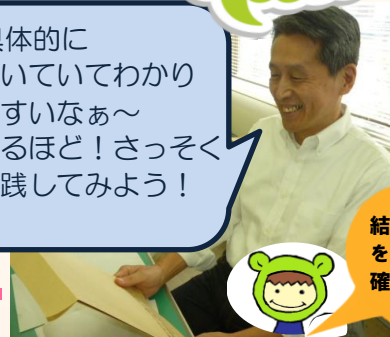
実践したことを
センターに報告
しよう…



せっせっ

具体的に
書いていてわかり
やすいなあ〜
なるほど！さっそく
実践してみよう！

結果報告書が届いた！



数日後
…

結果報告書
を見て何度も
確認できる
ね！

【担当者から】今年度から、対象を全ての障害福祉サービス事業所及び相談支援事業所にも拡大し、利用者の方のご自宅で活動されるヘルパーさん等にもご利用いただけるようになりました。また後日、訪問時の助言等を記載した結果報告書をお渡ししますので、訪問時の助言内容を職員間で共有するとともに他のご利用者の方のサービス提供にも応用する等、ぜひご活用ください。



これからの予定

地域リハビリテーション推進研修（後期）

講座

- 11月 10日（火） 13時30分～ 講座7「ことばに遅れのある人と話す時に～押さえておきたい基本的なコト～」
講座8「失語症って何？～その理解と接し方～」
- 11月 12日（木） 10時00分～ 講座9「精神障害のある方への支援（1）」
- 11月 13日（金） 10時00分～ 講座10「精神障害のある方への支援（2）」
- 12月 3日（木） 13時30分～ 講座11「明日から活かせる！栄養バランスのコツ」
講座12「腰痛からあなたを守るために！」
- 12月 11日（金） 9時00分～ 講座13「介護職のための医療的ケア研修」



実習

- 11月 19日（木）・11月 24日（火）・11月 27日（金） 各日13時30分～17時00分
実習1「からだの動かし方研修」～介助等における基本的な動かし方について～
※12月以降の開催日時は、当センターホームページでご確認ください。
- 11月 11日（水）・11月 18日（水）・11月 25日（水） 各日8時45分～11時30分
実習2「おはなし広場に入ろう！」
- 11月 16日（月）・12月 17日（木） 各日13時30分～16時00分
実習3「うまい自助具の活用で！～自分で出来ることを増やしてQOLを高めよう～」

この他にも12月以降に実習の開催を予定しています。詳しくは当センターホームページをご覧ください。



第29回京都市地域リハビリテーション交流セミナー

～高次脳機能障害のある方が地域で暮らすために～

日時 平成27年12月4日（金）13時30分～17時00分
場所 京都産業大学 むすびわざ館（下京区壬生川松原下る）
費用 無料 申込み不要（先着300名）



高次脳機能障害についての知識と回復イメージが一度に学べる講演会です。
講師は、高次脳機能障害の分野での第一人者である京都大学大学院医学研究科の村井俊哉先生と、あの「日々コウジ中」の著者、柴本礼さん！！もう聴くしかないです！！
高次脳機能障害のある方を支援する福祉サービス事業所等の紹介や自助具体験のブースも設けており、盛りだくさんな内容です。聴いて学んで体験してみてください。

「リハ エール」創刊号はいかがだったでしょうか。今後もお役に立てる情報をお届けできたらと思います。ご感想やご意見をお待ちしています。



【リハ エール】創刊号 2015年11月発行
発行 京都市地域リハビリテーション推進センター
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地
電話 075(823)1650(代表)
FAX 075(842)1545
Eメール rehabili@city.kyoto.lg.jp